

2007年10月(先月の重大ニュース)

小中高生向け「科学者養成所」が来年度スタート

理数系に卓越した意欲や能力を持つ小・中・高校生に向けた「未来の科学者養成講座」を、文部科学省が来年度から始めることになった。

(31日)

中学授業が週1コマ増、総合学習は減へ

文部科学省は、学習指導要領改訂の基本的な考え方と小中の教育課程の素案を中央教育審議会(中教審)に示した。早ければ11年春から施行される。小学校では、主要教科の授業時間を約1割増やし、高学年で「英語(外国語)活動」を週1コマ(45分)程度設ける一方で、「総合的な学習の時間」(総合学習)は週1コマ程度減らす。中学では国語、社会、数学、理科、外国語、保健体育の授業時間を増やし、「総合学習」を減らす結果、各学年とも週1コマ(50分)程度増える。同時に選択教科を減らし、カリキュラムの共通性を高める。科目別では、国語は3年を中心に授業時間を増やす 社会科は近現代を中心とした歴史や法に関する学習や宗教指導の充実のため、3年を中心に増やす 数学はつまずき、嫌いになる生徒を出さないよう丁寧に指導するため1、2年を中心に増やす 理科は学年が進むにつれて学習が深化するため2、3年を中心に増やす 外国語は文法指導や習得すべき語彙数を充実するため、全学年で増やす 保健体育は3学年を通じて増やすとしている。一方、各学年で必修となっている総合学習は、「考える力」の育成が他の教科でも充実できるとして、各学年で週1コマ相当減らす。

(30 - 31日)

ダンスも武道も男女必修へ

学習指導要領の改訂を検討している中教審の専門部会は、中学の保健体育で武道とダンスを男女にかかわらず、1、2年生で必ず履修すべきだとする案をまとめた。中教審の検討を経て文科省に答申され、早ければ11年春から実施される。(4日)

学力調査点数公表に慎重

今月中にまとまる全国学力調査(4月実施)の結果の公表範囲などについて、朝日新聞社は全国の市区町村教育委員会にアンケートし、7割弱の1240教委から回答を得た。文部科学省から提供されるデータのうち、「点数」にあたる平均正答数を公表する予定の教委は8.8%。分析結果だけの公表にとどめるのは19.6%、いずれも公表しないのは31.5%で、数字を出さない教委が計51.1%だった。(11日)

学力調査点数公表に慎重

今月中にまとまる全国学力調査(4月実施)の結果の公表範囲などについて、朝日新聞社は全国の市区町村教育委員会にアンケートし、7割弱の1240教委から回答を得た。文部科学省から提供されるデータのうち、「点数」にあたる平均正答数を公表する予定の教委は8.8%。分析結果だけの公表にとどめるのは19.6%、いずれも公表しないのは31.5%で、数字を出さない教委が計51.1%だった。(11日)